AAC 2020

ART MEETS ARCHITECTURE
COMPETITION 2001-2020

AAC POSTER COMPETITION
2008-2013, 2020

第20回
学生立体アートコンペティション

AAC
ART MEETS
ARCHITECTURE
COMPETITION

ご挨拶

アート・ミーツ・アーキテクチャー・コンペティション（AAC）は、2001年に始まった当社主催の学生限定立体アートコンペです。

当社では、居住者にゆとりと遊びの空間を提供するため、自社開発したすべてのマンションのエントランスホールに彫刻や絵画などの芸術作品を展示して、ミニ美術館のような空間を創っています。その活動の中で、毎年何百人も芸大を受験し、その中から数十人が入学して、大学院へ十数名ほどが進んでも、卒業後も彫刻を続ける学生が1人いるかいないかという現実を知りました。そこで、当社の活動を学生が知ることで、毎年数千棟と建つマンションのエントランスホールに彫刻を置くチャンスがあることに気付いて欲しいと思ったことから、AACを開始しました。

AACでは、最優秀賞を受賞した学生の作品が実際にマンションのエントランスホールに常設展示されます。自分の作品が公共の場所に設置されたという実績が、学生に対し卒業後プロとして活動していくうえでの自信につながり、活躍の場を広げるきっかけになればと考えています。

また、AACは公益社団法人企業メセナ協議会が主催する、企業が取り組むメセナ（芸術・文化振興による社会創造）活動を表彰する「メセナアワード2017」において優秀賞を受賞いたしました。私はこの活動が世の中の役に立ち、また、社会的な評価もいただいたことを大変うれしく思っております。

当社では、今後もこのコンペを継続することにより、若手芸術家の発掘、支援、育成に努めてまいりますので、皆さまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社アーバネットコーポレーション
代表取締役社長
服部 信治

MECENAT
AWARDS
2017

Sculpture

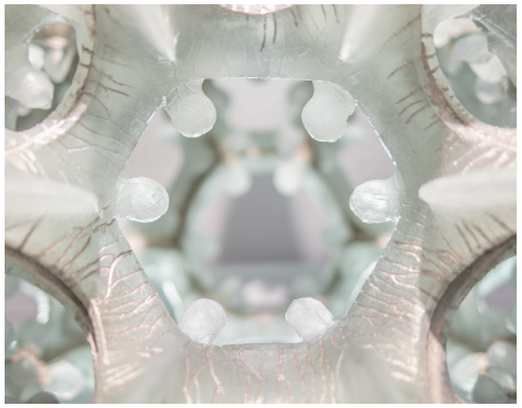
立体アート部門

最優秀賞

「Microcosm」

勝川 夏樹
東京藝術大学 大学院
美術研究科 美術専攻

素材：ガラス　900×900×900mm



［作品コンセプト］

私は顕微鏡の中の生き物をモチーフに作品制作しています。小さな世界にいる多様な姿をした生き物たちは奇妙で神秘的な生態や形態をしています。その魅力を多様な質感や表情をもつガラス素材を使って表現しています。

生き物の形態にたびたび見られる、幾何学構造を作品の中に表現するために3Dプリント技術を用いています。3Dプリンターで原型を制作し、ガラス鋳造技法でガラスパーツを作成します。作成したガラスパーツをダルドヴェール技法で組み立て、作品が完成します。

ガラス素材ということで、安全面に不安を持つ人が多いと思います。そのため、今回の作品はガラスに厚みをもたせるデザインと制作技法で安全性、耐久性を確保しています。木材、プラスチック、石などの素材と比較しても遜色ありません。また、鏡面仕上げのガラスではないので、手で直接触ったとしても手垢や汚損のおそれはなく、鋭利な部分もないのでケガの心配もありません。

この度は、最優秀賞に選出して頂き、とても光栄に思っております。今年は私の長い学生生活最後の年なので、とても良い経験と思い出になりました。今回得た経験を活かし、これからも作品制作を続けていきたいと思います。

メイクス新中野アジールコート　外観

［作品設置場所］

メイクス新中野アジールコート

構造・規模：鉄筋コンクリート造 10階
総戸数：74戸
竣工年：2020年

エントランスホール

審査風景

［一次審査］

氏名、性別、学校、受賞歴などのプロフィールは、完全に伏せた状態で書類審査を行う。
最終審査に進む3作品と、入選数作品を選出する。

［最終審査］

実際に展示されるエントランスホールに作品を持ち込み、仮設置し、作者によるプレゼンテーションを行う。
プレゼンテーション終了後、最優秀賞を決定する。

※学生の安心・安全を第一に、十分な新型コロナウイルス感染予防対策を講じて実施いたしました。

優秀賞

「ひとときひととき」

hamuhamu（早坂 雅寿、堀 真代）
東京都立大学 システムデザイン学部
システムデザイン学科 インダストリアルアートコース 4年

素材：木材、ミラー　1000×450×338mm

［作品コンセプト］

“想い出の瞬間を映し出すオブジェクト”
マンションロビーは退屈なものだ。セキュリティの確保、および風除機能のために設けられたスペースであり、住居人が行き来するための手段に過ぎない。しかしそこは時折、恋人が待つウェイティングスペースや近隣住民とのコミュニケーションの場として機能する側面を持つ。どんな場所でも「ひとときひとときを大切にしてもらいたい」そんな想いからデザインを考案した。

モニュメントについて：限られたスペースの中で行き交う人々の多様な重なりをレイヤーで表現した。 表面に施された木は来訪者を暖かく迎え入れるマンションのシンボルに。モニュメントの外側、内側を斜めに切り出し、中央を鏡面に仕上げる。それは光の乱反射によって時の流れを意識させる。さらに人の立つ位置や視線の高さによって、十人十色に表情が変わる。
絶え間無い日常がひとときひとときの想い出となりますように。

名誉ある賞をいただけて大変光栄です。ものつくりにおいて、人とつながることの大切さを実感し、自分たちの視野を広げることができました。最優秀賞を取れなかった悔しさをバネに、これからも貪欲に制作活動を続けてまいります。ありがとうございました。

優秀賞

「むれやなぎ」

山﨑 稚子
文化服装学院 服飾専門課程
服飾研究科 1年

素材：レース　800×800×800mm

［作品コンセプト］

私は衣服を人間の皮膚に次ぐ第二の皮膚であると考え、衣服をほどき、再び組み立てる方法で作品を制作しています。いわば衣服は人間の記憶や生活が染み込んだ遊離した身体のようなものであり、これを解体し、つなぎ合わせることで、人間同士の関係やコミュニケーションについて表現しています。

この度のコロナの影響の中での自粛や移動制限は、私たちに遠隔的な非接触のコミュニケーションの可能性を示しましたが、それ以上に触れることや直接人と会うコミュニケーションの代え難さを再認識させるものでした。

衣服が広がって地球を覆うような形になることをイメージしたこの作品は、何者をも受け入れていく優しさや柔軟さと命と人間の生の不可思議さを表現しています。

この度は、栄誉ある賞を頂き誠にありがとうございます。とても貴重な体験をさせて頂きました。沢山の方々に支えられ、新たな挑戦ができたことを本当に嬉しく思います。ありがとうございました。

入選

「うららかに」

戸川屋 綾萌
京都市立芸術大学
美術学部 彫刻専攻 3年

「drawing in the space」

千葉 洸里
筑波大学大学院
人間総合科学研究科 芸術専攻

「jig dig」

板倉 知也
信州大学大学院
総合理工学研究科 工学専攻 建築学分野

「煌」

小阪 史子
近畿大学
文芸学部 造形芸術専攻 4年

「都市の幹」

白鳥 好貴
放送大学
教養学部 人間と文化コース 1年

「樹」

井上 舞
広島市立大学大学院
芸術学研究科 彫刻専攻

「波」

XIAO YANG（ショウヨウ）
日本大学大学院
芸術学研究科 彫刻専攻

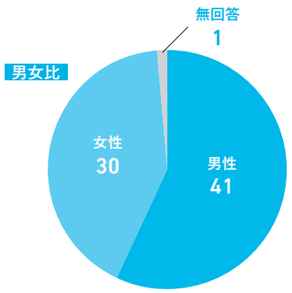
応募者集計結果

応募総数 **82** 作品（2019年度：71作品／2018年度：63作品）

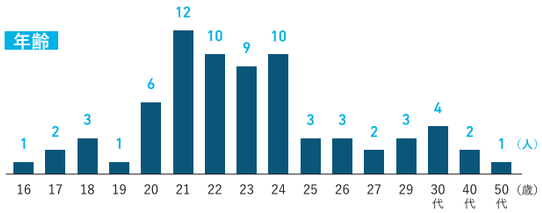
応募者数 **72** 名（2019年度：61名／2018年度：50名）

平均年齢 **24.0** 歳（2019年度：24.3歳／2018年度：24.7歳）

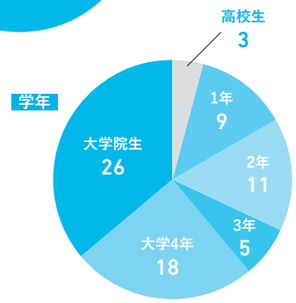
男女比



年齢



学年



学校

東京藝術大学（大学院）	13	大阪芸術大学	1
近畿大学	5	宮城県宮城野高等学校	1
多摩美術大学（大学院）	4	名古屋大学	1
京都市立芸術大学（大学院）	4	九州産業大学（大学院）	1
広島市立大学（大学院）	4	大阪市立大学	1
筑波大学（大学院）	3	横浜美術大学	1
日本大学（大学院）	3	神奈川大学（大学院）	1
武蔵野美術大学（大学院）	3	3DCGスクールAlchemy	1
金沢美術工芸大学	2	クリエイターズアカデミー	1
富山ガラス造形研究所	2	倉敷芸術科学大学（大学院）	1
京都芸術大学	2	放送大学	1
HAL名古屋	2	文化服装学院	1
HAL東京	2	京都工芸繊維大学（大学院）	1
明治大学	1	芸術文化短期大学	1
国立音楽大学	1	清風南海高等学校	1
神戸大学	1	信州大学（大学院）	1
東北芸術工科大学	1	杉野服飾大学	1
東京都立大学	1	佐世保工業高等高校	1

都道府県

東京都	19	石川県	1
京都府	7	宮城県	1
神奈川県	7	島根県	1
茨城県	6	奈良県	1
大阪府	6	福岡県	1
広島県	5	静岡県	1
富山県	2	愛媛県	1
埼玉県	2	三重県	1
愛知県	2	岡山県	1
千葉県	2	大分県	1
兵庫県	1	長野県	1
山形県	1	長崎県	1

主な専攻

美術・芸術・デザイン 16名
彫刻 15名
建築・空間・インテリア 10名
工芸(漆・鍛金・ガラスなど)..... 9名
絵画 3名
その他(音楽・服飾・CG 等)..... 5名

審査員

写真：伊藤彰紀

片岡 真実
Mami KATAOKA
森美術館 館長

1965年愛知県生まれ。ニッセイ基礎研究所都市開発部研究員、東京オペラシティアートギャラリー・チーフキュレーターを経て、2003年より森美術館。2020年1月1日館長就任。
2007～2009年はヘイワード・ギャラリー（ロンドン）にて、インターナショナル・キュレーターを兼務。第9回光州ビエンナーレ（2012年）共同芸術監督。第21回シドニー・ビエンナーレ芸術監督（2018年）。CIMAM（国際美術館会議）会長、京都芸術大学大学院教授、東京藝術大学客員教授。文化庁アートプラットフォーム形成事業・日本現代アート委員会座長。AICA（美術評論家連盟）会員。その他、日本及びアジアの現代アートを中心に執筆・講演・審査等多数。

宮津 大輔
Daisuke MIYATSU
アート・コレクター／横浜美術大学 学長

1963年東京都出身。広告代理店、上場企業の広報、人事管理職、大学教授を経て現職。
1994年以来企業に勤めながら収集したコレクションや、アーティストと共同で建設した自宅が、国内外で広く紹介される。台北當代藝術館（台湾・台北）の大規模なコレクション展(2011年)や、笠間日動美術館とのユニークなコラボレーション展(2019年)などが話題となった。『現代アート経済学II脱石油・AI・仮想通貨時代のアート』(ウェイツ)や『定年後の稼ぎ力』(日経BP)、『アート×テクノロジーの時代』(光文社新書)など著書や寄稿多数。

大成 哲
Tets OHNARI
彫刻家（第1回AAC優秀賞）

1980年東京生まれ。日本大学芸術学部在学時にAAC第1回目に応募し受賞。
東京藝術大学大学院修士課程修了後、POLA美術振興財団、文化庁の海外研修制度などを受け、2010年チェコ共和国のプラハへ研修。以後、現在も中欧と日本を中心に展示、滞在制作など彫刻制作活動を続けている。
2020年 Egon Schiele Art Centrum（チェコ）、TEZUKAYAMA Gallery（大阪）などで個展開催。

服部 信治
Shinji HATTORI
主催会社 代表取締役社長

1950年福岡県生まれ。一級建築士。大学卒業後、主にマンションの設計・企画・コンサルに携わる。1997年にマンション設計・企画を中心とした株式会社アーバネットコーポレーションを設立。2000年から投資用マンションの開発・1棟販売事業を開始し、その後、ファミリーマンションや戸建ての開発・販売等、事業を拡大。2007年に自社の株式をジャスダック証券取引所に上場させた。
一貫してマンションの設計に携わる中で、コンパクト性や機能性に偏り過ぎた日本のマンションに、もっと文化的な要素を取り入れたいと思い立ち、自社で開発したマンションのエントランスにアートを取り入れるようになった。

［総評］

片岡真実――勝川さんは顕微鏡で見ている世界、不可視なスケールの世界を可視化していくということをコンセプトに、これまで制作を続けていらっしゃいました。作品が若干コロナウイルスに似ているのではないかというコメントもありましたが、それも含めて、見えない世界を意識するようになったこの年にできた作品としては興味深いものだと思います。これから長い間あの空間に置かれる中で、見えている世界だけではなく、見えない世界にも意識を向けていくということを喚起するような作品になってほしいと思います。

早坂さん、堀さんの作品も大変よくできていました。物として、造形として、おもしろさのあるものだと思っています。しかし、コンセプトの段階からスケールダウンし、この大きさで、あの空間に存在することが良いことなのかというマイナスな印象が残ってしまいました。作品のコンセプト、つまりどういうことを表現しているのかという「意味」の部分を強化していくことで、今後更に発展できるのではないかと思います。

山﨑さんの作品に関しては、審査員一同大変おもしろいと思いました。高く評価したいと思っております。ただ、通常の展覧会に出してもらうということであれば大変ふさわしい、おもしろい作品であると思いましたが、素材も含めて物の安定感ということを考えると、この作品が恒常的にあの場所に置かれるということを考えたときに若干の不安が残り、それがなかなか払拭できませんでした。アイデアとしては大変斬新なものだと思いますので、今後も色々なことに挑戦していただきたいです。

宮津大輔――入賞者の皆さんはそれぞれ強みを活かして、学生でありながら得意な部分でプロフェッショナリティを発揮して作品を作られたということが、非常に素晴らしいと思っています。

卒業後は、思い通りにいかないことも多いと思います。働きながら制作活動を続けていくのか、アーティスト・クリエイターとして続けていくのかわかりませんが、最終審査まで残ったことで、得難い経験を得ました。

最終審査ではライティングや設置の方法などを、審査員の方から技術的に色々なアドバイスを受けたと思います。実際に一流のプロフェッショナルと仕事をしたその経験を活かして今後も長く、この造形・デザインの世界で活躍していただきたいと思います。

大成哲――賞を取ることは重要なことではありますが、それだけではなく、表彰式の舞台に立ち、一流の審査員や、支えてくれた関係者の方々と共に懇親の時間を過ごし、更に賞金を得たという、この思い出やキャリアは本当にかけがえのないものです。10年後、20年後と、長い時間が経ったときに、この表彰式の日のことを思い出すと思います。

私も作家として辛いときや、やめたいときには、AACで受賞したことや、今まで私の制作活動を支援し、応援してくれた方々のことを思い出して、ここでやめるわけにはいかないという気持ちが大きくなり、それが原動力となって現在まで制作活動を続けることができているのだと思います。

皆さんの心と身体に刻まれていることは、ずっと糧になりますので、これからも制作を続けて頑張ってください。

Poster ポスター部門

最優秀賞

「空間に産む」

藤田 理紗子
女子美術大学
芸術学部 デザイン・工芸学科
ヴィジュアルデザイン専攻 2年

応募時の作品

［受賞者のコメント］

この度はすばらしい賞をいただき、ありがとうございます。
一枚の紙でさえも作り手が手を加えることで如何様にも変化できます。
そして変化の過程にある行為は全て可能性と、エネルギーを持っていると思います。
AACに応募する方々にその力を十分に体現し、思い描いたものを作り上げてほしい。
私はそんな想いを込め、過程の手をメインビジュアルとしてポスターを制作しました。
このポスターがより多くの方の目に触れることを願っています。

最終ポスターは、はじめに提出した作品からブラッシュアップを経て、
大きく素敵に変わりました。ブラッシュアップの過程では新たに学ぶことが
ほとんどで、非常に勉強になりました。この貴重な経験を糧に、
これからの学習や活動に励んでいきたいと思います。

入選

「空に浮かぶ飛行機雲」

細谷 大樹
仙台城南高等学校
科学技術科 情報デザインコース 2年

「no awareness」

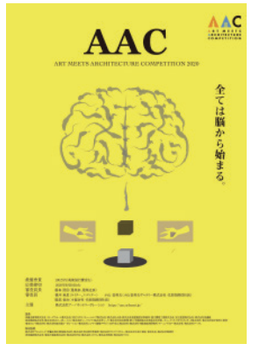
織田 可久瑠
横浜国立大学
都市科学部 建築学科 1年

「illuminate the world」

林 蘭里
愛知県立芸術大学
美術学部デザイン・工芸科デザイン専攻 2年

「黄脳」

田中 良太
創造社デザイン専門学校
グラフィック専攻 1年



「試行錯誤」

西内 寛大
札幌市立大学
デザイン学部デザイン学科 3年

「飛び出せ」

平北 詩恩
拓殖大学
工学部 デザイン学科 2年

審査員

森井 ユカ
Yuka MORII
立体造形家／雑貨コレクター

小さいものを作ることと愛でることを仕事にしている。
立体造形では粘土を使ったイラストレーション、キャラクターデザイン、漫画のキャラの立体化。既成のキャラの立体化は『ポケットモンスター』『あたしンち』『おいピータン!!』など。オリジナルのキャラクターデザインは『がすたん』（京葉ガス）、『ねんDo!』（アガツマ）、『くまはち』（テレビ熊本）など。
雑貨コレクターとしては国内外の日用雑貨や食品パッケージを収集し書籍化、また各メディアでの解説をしている。代表著作に『スーパーマーケットマニア』シリーズ（講談社）。近著に『IKEA maniac』（河出書房新社）、『月イチ台北どローカル日記』（集英社）。
有限会社ユカデザイン代表・桑沢デザイン研究所非常勤講師。

古平 正義
Masayoshi KODAIRA
アートディレクター／デザイナー

1970年大阪生まれ。1997年よりフリーランス、2001年FLAME設立。
主な仕事に、横浜美術館・水戸芸術館・原美術館・21_21 DESIGN SIGHT・アートフェア東京などのポスターや、ラフォーレ原宿の広告・CM、BAO BAO ISSEY MIYAKE とのコラボレーション他。
映像や建築のサイン計画や展覧会の会場構成も手がけている。
FLAME代表・大阪芸術大学客員教授。

［総評］

森井ユカ――今回の選考の決め手となったのは、「立体的な作品を作り出すコンペのためのポスター」ということが、見ている人にしっかり伝わるか、ということでした。藤田さんの抽象と具象が渾然一体となったメインビジュアルからは、造形を生み出す生き生きとした鼓動のようなものが感じられ、この趣旨にピッタリです。

ブラッシュアップでは、テキストの位置など全体的なレイアウト変更、またメインビジュアルが安定するよう微調整、指のフォルムをより有機的に滑らかなラインを描くことなどをお願いしています。

審査は、作者のプロフィールを伏せて検討されたのですが、フタを開けてみると高校生の作品が大健闘していたことも非常に印象的でした。今後がとても楽しみなコンペです。

古平正義――藤田さんの作品は、他の作品群と全く違うビジュアルで最初から最後まで強く印象に残り続けていたものです。元の画が素晴らしく、既に前に出てくる強さもあったのですが、モノクロでポスターとしては少し地味かな、という審査員の総意もあり、ブラッシュアップで印刷のアレンジをお手伝いさせていただきました。頭の中にあったものをかたちにして、さらに印刷の工夫を加えて想像以上のものに仕上がる、そんなデザインの楽しさを知ってもらえると幸いです。

ビジュアルはみんな完成度が高く、自分が学生だった頃とは大違いだ〜と痛感しました。しかし、その反面似た様なアイデアが多く、また、文字・言葉の扱いが二の次になってしまっている印象を受けました。デザインはそこからスタートするものなので、自分自身がこのポスターをはじめて見る人の立場になって、もう一度考えてみてください。そして次回、すごい作品が現れるのを楽しみにしています！

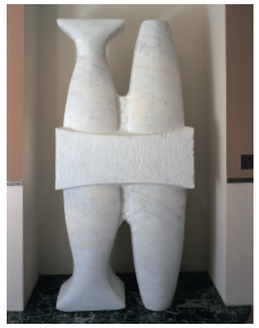
審査風景・表彰式

HISTORY OF AAC 2001-2020 | 2001-2012

今までの最優秀賞作品を全てご紹介いたします。

2001

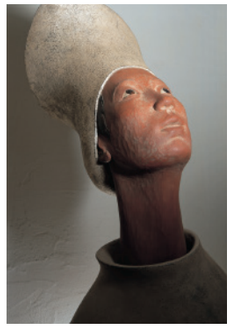
高橋桃｜牛I



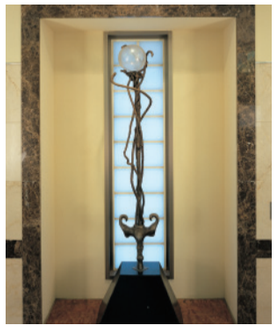
伴翼｜akka

2002

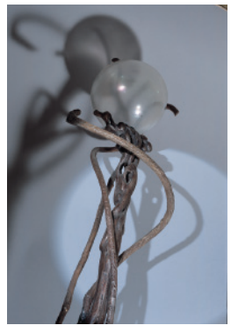
藤本明洋｜目に見える偶然



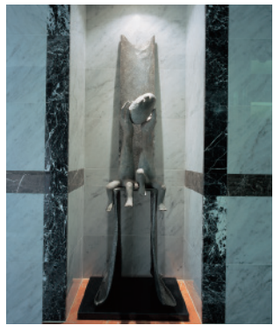
2003



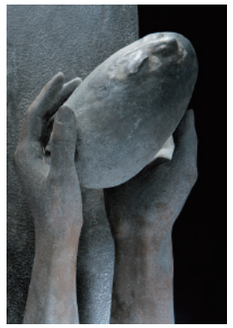
柳原絵夢｜monk's habit



2004



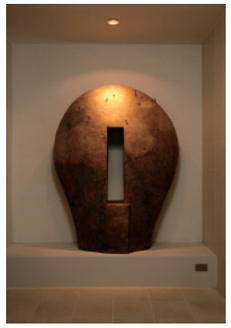
青柳慎｜Family's scenery



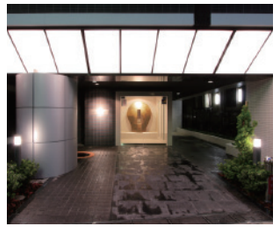
2005

武藤亜希子｜その木が生える場所

2006



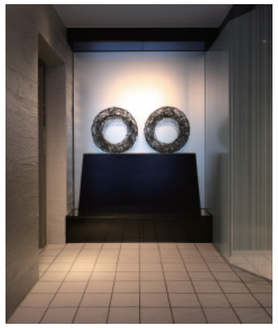
堀園実｜息を止めてきこえるリズム



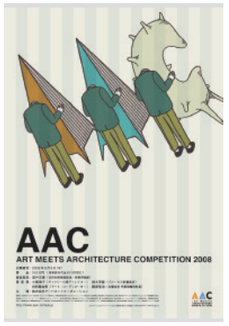
2007

岩田秀和｜Balance - from a division body -

2008



小椋聡子｜ゆるやかなときのながれのなかで



佐野夏記｜（作品タイトルなし）

2009

八木貴史｜天上の虹

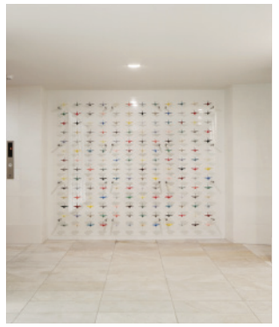
村岡あさこ｜手に豆が出来る程

2010

宮原嵩広｜A.S.series「第二の扉」

増川友梨・齋藤菜月｜HOUSE AAC

2011



堀康史｜HOPE

藤平奈央子｜平面から立体へ

2012

帆足枝里子｜景

戸塚香里｜あたらしい鏡

2013

村上仁美｜eternal moment

関谷大志朗｜なにをみる。

2014

井田大介｜UNTITLED

2015

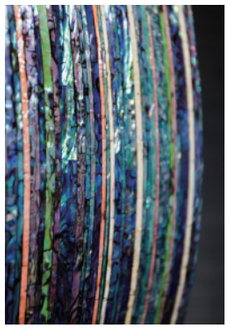
渡辺志桜里｜ひとつのうみ

2016

古川千夏｜GEMME

2017

金俊来｜Waterfall



2018

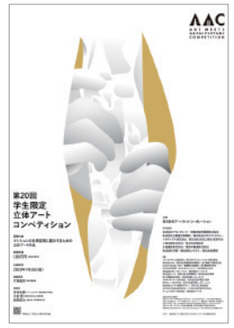
雷康寧｜Be water my friend

2019

白谷琢磨｜the city

2020

勝川夏樹｜Microcosm



藤田理紗子｜空間に産む

2001年からスタートしたAACは、2020年で20回目の開催となりました。
手探りでスタートした第1回目の応募数は、4作品。
その中から立体作品1点、レリーフ作品1点が最優秀賞に選ばれました。
アート界で活躍されている多くの方々に審査にご協力いただき、
少しずつですが応募数も増え、毎年全国から多彩な作品が寄せられています。

今後もこのコンペを継続することにより、
若手芸術家の発掘・支援・育成に努めてまいります。

HISTORY OF AAC 2001-2020 | DATA

2001

最優秀賞　高橋桃｜牛I　東京造形大学大学院 彫刻専攻 修士 2年
　　伴翼｜akka　東京造形大学 彫刻学科 4年
優秀賞　大成哲｜いち　日本大学 芸術学部 彫刻学科 3年
　　山口史貴　東京造形大学
審査員　高岡典男　彫刻家
　　古賀賢治　アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
　　櫻庭春来　画家
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージファースト用賀アジールコート（東京都 世田谷区）

2002

最優秀賞　藤本明洋｜目に見える偶然　明星大学大学院 木材造形 修士1年
優秀賞　三神慎一朗｜彼女は見ている、彼女の世界観　東京藝術大学 工芸科 鍛金 3年
　　森園雅明｜slow life｜ 日本大学 彫刻専攻 3年
審査員　金澤毅　美術評論家／成安造形大学名誉教授／元 原美術館館長
　　加藤陽之　STUDIO VOICE編集長
　　高岡典男　彫刻家
　　古賀賢治　アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　パテラ百合ヶ丘グランアジール（神奈川県 川崎市）

2003

最優秀賞　柳原絵夢｜monk's habit　東京藝術大学大学院 彫刻科 修士 2年
優秀賞　青柳慎｜見知らぬワタシ　京都造形芸術大学大学院 修士 1年
　　安部公房｜無題　武蔵野美術大学大学院 彫刻 修士2年
　　森貴也｜ここから・・・　大分大学大学院
審査員　金澤毅　美術評論家／成安造形大学名誉教授／元 原美術館館長
　　正木基　美術評論家／目黒区美術館 学芸員
　　加藤陽之　STUDIO VOICE編集長
　　高岡典男　彫刻家
　　古賀賢治　アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージグランデ三軒茶屋アジールコート（東京都 世田谷区）

2004

最優秀賞　青柳慎｜Family's scenery　京都造形芸術大学大学院 芸術表現学科 修士 2年
優秀賞　今井紫緒｜組み立てられた時間　東京藝術大学大学院 彫刻専攻 修士 2年
　　本田祐介｜a part　東北芸術工科大学 美術科 工芸 金属 3年
審査員　金澤毅　美術評論家／成安造形大学名誉教授／元 原美術館館長
　　高岡典男　彫刻家
　　古賀賢治　アートディレクター／株式会社CYA 代表取締役社長
　　清水敏男　美術評論家／学習院女子大学教授
　　加藤陽之　STUDIO VOICE編集長
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージファースト三軒茶屋アジールコートII（東京都 世田谷区）

2005

最優秀賞　武藤亜希子｜その木が生える場所　東京藝術大学大学院 絵画科 油画専攻 博士 3年
優秀賞　佐脇遥｜Tom Cat 2005　ヒコ・みづのジュエリーカレッジ アートジュエリー 2年
　　向川未桜｜杜の子　北海道教育大学 芸術文化課程 美術 1年
　　柳公絵｜成長　長岡造形大学 工芸デザイン 3年
審査員　岡部あおみ　美術評論家／武蔵野美術大学教授
　　保科豊巳　現代美術家／東京藝術大学助教授
　　広本信幸　@ギャラリータグボート 担当ディレクター
　　真壁佳織　美術ジャーナリスト
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージファースト田園調布アジールコート（東京都 世田谷区）

2006

最優秀賞　堀園実｜息を止めてきこえるリズム　沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 彫刻専攻 4年
優秀賞　北川太郎｜時空ピラミッド　愛知県立芸術大学大学院 彫刻 修士 2年
　　武末裕子｜membran　東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 修士 2年
審査員　青木淳　建築家
　　宮村周子　編集者／ライター
　　小山登美夫　小山登美夫ギャラリーオーナー
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージファースト板橋仲宿アジールコート（東京都 板橋区）

2007

最優秀賞　岩田秀和｜Balance - from a division body -　東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻 研究生
審査員特別賞・優秀賞　小泉悟｜経過する時間　沖縄県立芸術大学大学院 造形芸術研究科 環境造形専攻 彫刻専攻 修士 1年
優秀賞　井川彩子｜ゆるり　東京藝術大学大学院 美術研究科 ガラス造形専攻 修士 2年
審査員　南條史生　森美術館館長
　　西沢立衛　建築家／ライター
　　佐谷周吾　ギャラリスト／シュウゴアーツ代表
　　児島やよい　キュレーター／コーディネーター／ライター
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージファースト両国南アジールコート（東京都 墨田区）

2008

最優秀賞　小椋聡子｜ゆるやかなときのながれのなかで　東京藝術大学大学院 美術研究科 博士後期課程 研究領域 工芸 鍛金
優秀賞　三上賢治｜Wall　広島市立大学大学院 芸術学研究科 総合造形芸術 博士後期課程 1年
　　奥村太郎｜ときのなみ　京都市立芸術大学大学院 美術研究科 彫刻 修士 1年
審査員　酒井忠康　世田谷美術館館長／美術評論家
　　小柳敦子　ギャラリー小柳ディレクター
　　鈴木芳雄　マガジンハウス ブルータス 副編集長
　　内田真由美　アート・コーディネーター
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　アジールコート荻窪（東京都 杉並区）

[ポスター部門]
最優秀賞　佐野夏記　静岡文化芸術大学 デザイン学部 生産造形学科
審査員特別賞　早川裕子　武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科
審査員　鈴木芳雄　マガジンハウス ブルータス 副編集長
　　菊地敦己　Bluemarkアートディレクター
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長

2009

最優秀賞　八木貴史｜天上の虹　武蔵野美術大学大学院 造形研究科 美術専攻 彫刻コース
優秀賞　片井彩霞｜うずくまる　九州産業大学大学院 芸術学部 芸術専攻科
　　本郷芳哉｜立つこと　東京藝術大学 美術学部 彫刻科 研究生
審査員　小池一子　クリエイティブディレクター
　　堀元彰　東京オペラシティアートギャラリー・チーフキュレーター
　　白石正美　白石コンテンポラリーアート代表
　　北澤ひろみ　キュレーター
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　アジールコート武蔵小杉（神奈川県 川崎市）

[ポスター部門]
最優秀賞　村岡あさこ｜手に豆が出来る程　多摩美術大学 美術学部 グラフィックデザイン学科 3年
審査員　えぐちりか　アーティスト／アートディレクター
　　北澤ひろみ　キュレーター
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長

2010

最優秀賞　宮原嵩広｜A.S.series「第二の扉」　東京藝術大学大学院 美術学部 彫刻科
優秀賞　堀康史｜セルメン　多摩美術大学 美術学部 油画専攻 3年
　　小野真由｜彩　多摩美術大学 美術学部 工芸学科 陶プログラム 3年
審査員　新見隆　デザイン・美術評論家／キュレーター
　　植松奎二　芸術家
　　千葉由美子　ユミコチバアソシエイツ代表
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　AXAS森下sta.（東京都 江東区）

[ポスター部門]
最優秀賞　増川友梨・齋藤菜月｜HOUSE AAC　女子美術大学 芸術学部 デザイン学科 4年
審査員　杉山ユキ　株式会社博報堂 アートディレクター
　　服部信治　主催会社 代表取締役社長

2011

最優秀賞　堀康史｜HOPE　多摩美術大学 美術学部 油画専攻 4年
優秀賞　帆足枝里子｜土塊　女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻 修士課程 立体芸術
向川千世｜時を紡いで　大阪教育大学大学院 教育学研究科 美術教育専攻
審査員　酒井忠康　世田谷美術館館長／美術評論家
岩渕貞哉　月刊『美術手帖』編集長
内田真由美　アート・コーディネーター
服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージファースト両国アジールコート（東京都 墨田区）

[ポスター部門]
最優秀賞　藤平奈央子｜平面から立体へ　日本大学 芸術学部 デザイン学科 2年
審査員　帆足英里子　株式会社ライトパブリシティ アートディレクター
服部信治　主催会社 代表取締役社長

2012

最優秀賞　帆足枝里子｜景　女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻 修士課程 立体芸術
優秀賞　グループ名：金保／平山 ー 金保洋・平山里紗｜結　金沢美術工芸大学 美術工芸学部 工芸専攻 2年
山口恵美｜catena　佐賀大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻 修士2年
審査員　南條史生　森美術館館長
広本伸幸　実践美学者
児島やよい　キュレーター／コーディネーター／ライター
服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　AXAS上野北（東京都 台東区）

[ポスター部門]
最優秀賞　戸塚香里｜あたらしい鏡　武蔵野美術大学 造形学部 視覚伝達デザイン学科 3年
審査員　長嶋りかこ　博報堂 アートディレクター／デザイナー
服部信治　主催会社 代表取締役社長

2013

最優秀賞　村上仁美｜eternal moment　愛知県立芸術大学大学院 美術研究科 彫刻領域
優秀賞　大野晴美｜Human sign　女子美術大学大学院 美術研究科 美術専攻 立体芸術研究領域
安達淳｜表出　武蔵野美術大学大学院 造形研究科 デザイン専攻 建築コース
審査員　土屋公雄　彫刻家／愛知県立芸術大学教授
小山登美夫　小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長
宮村周子　編集者／ライター
服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージグランデ蒲田アジールコート（東京都 大田区）

[ポスター部門]
最優秀賞　関谷大志朗｜なにをみる。　関西大学大学院 理工学研究科 ソーシャルデザイン専攻 建築学分野 修士1年
審査員　高井薫　株式会社サン・アド アートディレクター
服部信治　主催会社 代表取締役社長

2014

最優秀賞　井田大介｜UNTITLED　東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻
優秀賞　穴井麻美｜見つめる　多摩美術大学大学院 美術研究科 工芸専攻
グループ名：進藤・山崎・前原・横田｜フォトンの日々
進藤篤　東京藝術大学大学院 美術研究科 デザイン専攻
山崎明史　日本大学大学院 芸術学研究科 造形芸術専攻
前原良平　日本大学 生産工学部 創生デザイン学科 3年
横田安紀　日本大学 生産工学部 創生デザイン学科 4年
審査員　塩田純一　新潟市美術館館長／美術評論家
岩渕貞哉　月刊『美術手帖』編集長
森千花　東京都現代美術館 学芸員
服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　グランドコンシェルジュ新御徒町アジールコート（東京都 台東区）

2015

最優秀賞　渡辺志桜里｜ひとつのうみ　東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻
優秀賞　佐藤風太｜気配　東京藝術大学 美術学部 彫刻専攻 3年
金俊来｜日の出　京都市立芸術大学大学院 美術研究科 博士課程 漆工専攻
審査員　清水敏男　TOSHIO SHIMIZU ART OFFICE代表
鈴木芳雄　編集者／美術ジャーナリスト／愛知県立芸術大学客員教授
小山登美夫　小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長
服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージグランデ清澄白河アジールコート（東京都 江東区）

2016

最優秀賞　古川千夏｜GEMME　広島市立大学大学院 芸術学研究科 博士前期課程 造形芸術専攻
優秀賞　中尾俊祐｜Corona　和歌山大学 システム工学部 デザイン情報学科 4年
堀田光彦｜朝の輝き　東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 鋳金研究分野 修士 1年
審査員　秋元雄史　東京藝術大学大学美術館館長／金沢21世紀美術館館長
望月かおる　月刊『美術手帖』副編集長
内田真由美　アート・コーディネーター
服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージファースト蔵前IIアジールコート（東京都 台東区）

2017

最優秀賞　金俊来｜Waterfall　京都市立芸術大学大学院 美術研究科 博士課程 漆工専攻
優秀賞　後藤宙｜Heterogen　東京藝術大学大学院 美術研究科 先端芸術表現専攻
土井彩香｜Starting from white　東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻
審査員　堀元彰　東京オペラシティアートギャラリーチーフ・キュレーター
三沢厚彦　彫刻家
小山登美夫　小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長
服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　AXAS代々木八幡アジールコート（東京都 渋谷区）

2018

最優秀賞　雷康寧｜Be water my friend　東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻
優秀賞　佐野圭亮｜現の杼　東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻
堀田光彦｜精神の美　東京藝術大学大学院 美術研究科 工芸専攻 鋳金研究分野 研究生
審査員　馬渕明子　国立西洋美術館館長
ヤノベケンジ　現代芸術作家
内田真由美　アート・コーディネーター
服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　ステージファースト両国IIアジールコート（東京都 墨田区）

2019

最優秀賞　白谷琢磨｜the city　東京藝術大学大学院 美術研究科 彫刻専攻
優秀賞　番原耕一郎｜Neighbor　広島市立大学大学院 芸術学研究科 総合造形芸術専攻
五十嵐亮太｜半分の阿吽　東京藝術大学大学院 美術研究科 デザイン専攻
審査員　藤森照信　建築家／建築史家／東京都江戸東京博物館館長
橋本麻里　ライター／エディター／公益財団法人永青文庫副館長
小山登美夫　小山登美夫ギャラリー株式会社 代表取締役社長
服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　アジールコート台東根岸（東京都 台東区）

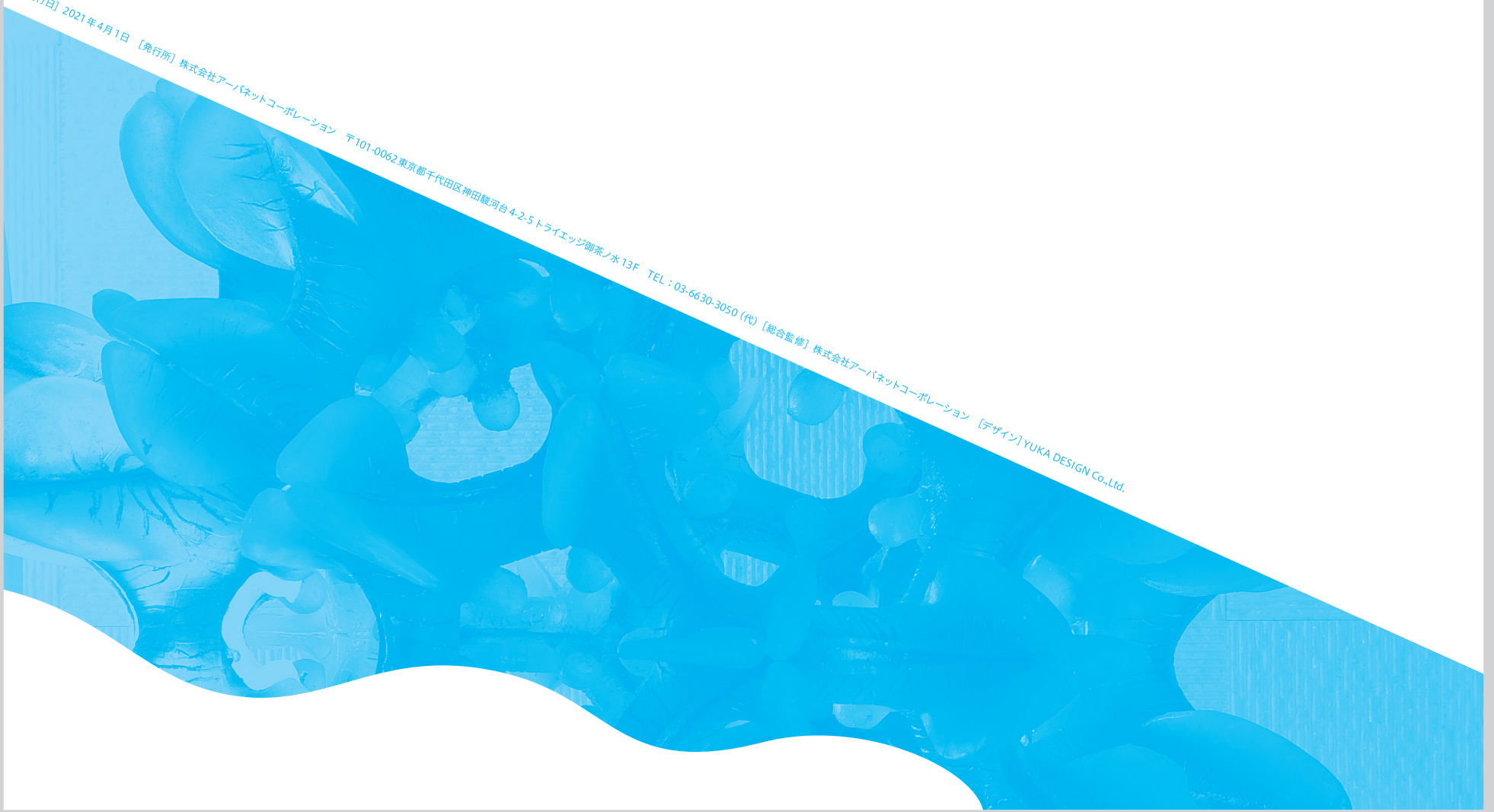
2020

最優秀賞　勝川夏樹｜Microcosm　東京藝術大学大学院 美術研究科 美術専攻
優秀賞　hamuhamu（早坂雅寿、堀真代）｜ひとときひととき　東京都立大学 システムデザイン学部 システムデザイン学科 インダストリアルアートコース 4年
山﨑稚子｜むれやなぎ　文化服装学院 服飾専門課程 服飾研究科 1年
審査員　片岡真実　森美術館 館長
宮津大輔　アート・コレクター／横浜美術大学 学長
大成哲　彫刻家／第1回AAC優秀賞受賞
服部信治　主催会社 代表取締役社長
設置場所　メイクス新中野アジールコート（東京都 中野区）

[ポスター部門]
最優秀賞　藤田理紗子｜空間に産む　女子美術大学 芸術学部 デザイン・工芸学科 ヴィジュアルデザイン専攻 2年
審査員　森井ユカ　立体造形家／雑貨コレクター
古平正義　アートディレクター／デザイナー
服部信治　主催会社 代表取締役社長

AAC2020 立体アートコンペティション概要

募集期間	2020年5月1日～7月3日
募集内容	設置場所の空間を生かした立体アート作品
条件	1. 未発表のオリジナル作品 2. 展示場所にアンカー等で固定できる形状 3. マンションの入居者にとって安全であること 4. 電源の供給を必要とする作品は不可
設置場所	「メイクス新中野アジールコート」（東京都中野区）のエントランスホール
素材	石・鉄・FRP 等、長期展示に耐えうる材質
作品サイズ	展示スペース 幅1000×奥行1000×高さ2300mmに収まるもの／重量約100kg以下／台座置き
応募資格	全国の大学・大学院・短期大学・専門学校・高校等で、 美術・芸術・デザイン・建築・空間演出等を学んでいる学生（グループ可）
応募点数	複数応募可
賞	最優秀賞（1点）…… 賞金総額100万円（美術旅行費を含む）／作品は作者名（グループ名）の入ったプレートと共にマンションに常設設置 優秀賞（2点以上）…… 賞金20万円 入選（数点）…… 賞金5万円
制作補助金	一次審査を通過した入賞作品（3点以上）には制作補助金として20万円+搬出入費を支給 ※遠方者の交通費・宿泊費も別途支給
協賛企業 ※50音順	特別協賛 株式会社アセットリード／伊藤忠都市開発株式会社／株式会社共同設計事務所／ 株式会社クロスファクトリー／ケネディクス株式会社／株式会社合田工務店 東京本店／ 三信住建株式会社／株式会社陣設計／多田建設株式会社／東急不動産株式会社／ 株式会社PIM／株式会社メイクス／株式会社明和 協賛 イトーピアホーム株式会社／NECネクサソリューションズ株式会社／株式会社大島／ 株式会社核建築設計事務所／協立機電工業株式会社／Good Lifestyle Plus一級建築士事務所／ 京王建設株式会社／株式会社後藤組／株式会社コルピソス／ 坂田建設株式会社／株式会社GSコーポレーション／株式会社シーファイブ／ 株式会社シーラ／篠崎・進士法律事務所／株式会社住宅新報／新三平建設株式会社／ 株式会社第一ヒューテック／タカラスタンダード株式会社／株式会社田中電気工業所／ 東京カレント株式会社／株式会社都市建コーポレーション／株式会社ニシヤマ建築デザイン／ 日ポリ化工株式会社／株式会社不動産経済研究所／三井住友信託銀行株式会社／ モーニングスター株式会社／株式会社ワークス 賛助 株式会社アクロス／株式会社朝倉崇夫都市建築設計事務所／イデア株式会社／株式会社ウミイチ／ 株式会社エル設計事務所／株式会社ギャバン／株式会社国際技術コンサルタンツ／株式会社スタイレックス／ 株式会社設計工房イー・ディー／セブンランズ株式会社／株式会社地域環境開発／ナチュラルデザイン／ 株式会社ファーストクリエイト／株式会社柳学アーキテクツ／株式会社吉田正志建築設計室／ラン株式会社



［発行日］2021年4月1日 ［発行所］株式会社アーバネットコーポレーション 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4-2-5 トライエッジ御茶ノ水13F TEL：03-6630-3050（代）［総合監修］株式会社アーバネットコーポレーション ［デザイン］YUKA DESIGN Co.,Ltd.